

AVIC-DR1000V

取付説明書

本製品はEIAJコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。



PRINTED WITH
SOY INK

この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

< KAMZF/00I00001 > < CRA3092-A >

作業の進めかた

① はじめに

- 接続・取り付け部品を確認する — 2ページ
- 製品の配置例 — 4ページ

② 接続する

- 接続の前に知ってほしいこと — 5ページ
- 接続端子のなまえと働き — 7ページ
- システムの接続 (1) — 8ページ
「CD-FM30」 「CD-VM10」
- システムの接続 (2) — 10ページ
- 電源コードの接続 (1) — 12ページ
- 電源コードの接続 (2) — 14ページ
- VICS/FM多重アンテナの接続 — 16ページ

③ 取り付ける

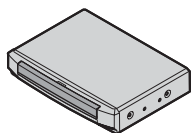
- 取り付けの前に知ってほしいこと — 18ページ
- ナビゲーション本体の取り付け — 19ページ
- GPSアンテナの取り付け — 24ページ
- リモコンの取り付け — 26ページ
- TVモニター取り付け — 28ページ
- TVアンテナの取り付け — 30ページ
- ビーコン受信機の取り付け — 40ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

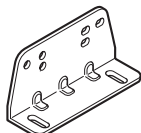
- 接続の確認と
センサーリセットを行う — 42ページ

接続・取り付け部品を確認する

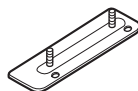
ナビゲーション本体関係



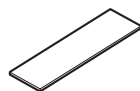
ナビゲーション本体
× 1



取付アングル × 2



取付ベース × 2



粘着テープ × 2



蝶ナット
(6 mm) × 4



座付きネジ
(5 × 8 mm) × 4



タッピングネジ
(6 × 16 mm) × 4

GPSアンテナ関係



GPSアンテナ × 1



金属シート × 1



クランパー × 5



防水パッド × 1

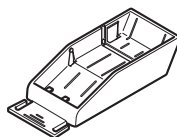
リモコン関係



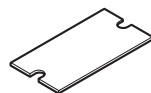
リモコン × 1



単4形アルカリ
乾電池 (LR03) × 2

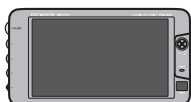


リモコンホルダー
× 1

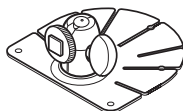


両面テープ
(57 × 34 mm) × 1

TVモニター関係



TVモニター × 1



TVモニター
取付金具 × 1



スペーサー × 2

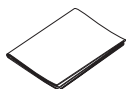


タッピングネジ
(4 × 12 mm) × 5

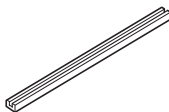
TVアンテナ関係



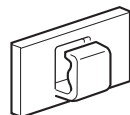
TVアンテナ
右用・左用 各1



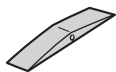
クリーナークロス
×1



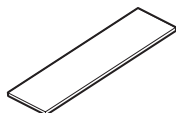
コードレール ×2



クランパー ×6



防水パッド ×2



透明シート ×2



エレメント固定
ホルダー ×4

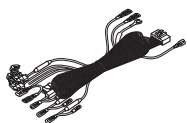


車室内取付用
アンテナベース ×2

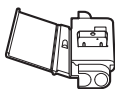


両面テープ
(25 × 80 mm) × 2

コード関係



電源ケーブル ×1



UElementコネクター ×1

ビーコン関係



ビーコン受信機
×1



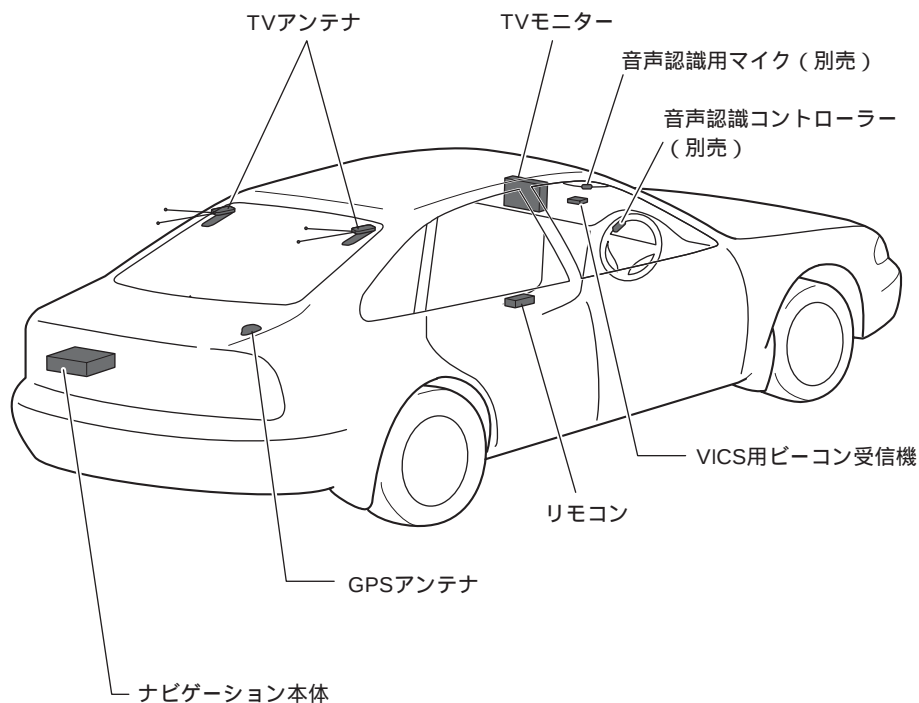
台座 ×1



クランパー ×3

製品の配置例

下図は、別売製品を組み合わせたときのシステム全体の配置例です。
実際は、組み合わせた製品とご自分のお車に合わせて、製品を配置してください。



メモ

- 配置場所によっては、別売の延長ケーブルや取付キットが必要になることがあります。
- 本機と他のナビゲーションシステム (GPS受信機) を同時に使用すると、本機のGPS受信性能に悪影響が出る場合があります。同時に使用しないでください。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機は、EIAJコードカラーに対応する変更を行いました。対応に伴い、本機ではEIAJコードカラーの他に次のコードカラーも変更されています。

オートアンテナ

リモートコントロール：青→青/黒
ビーコンコントロール：青→青/白

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。
- 本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車では使用できません。絶対に取り付けないでください。取り付けると、バッテリー上がりの原因になります。

接続のポイント

ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * TVアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM多重アンテナおよびそのアンテナコードそれぞれのアンテナコードどうしでもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

接続の前に知ってほしいこと

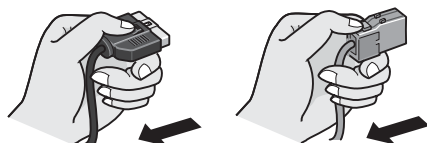
つづき

ピンクリード線の接続について

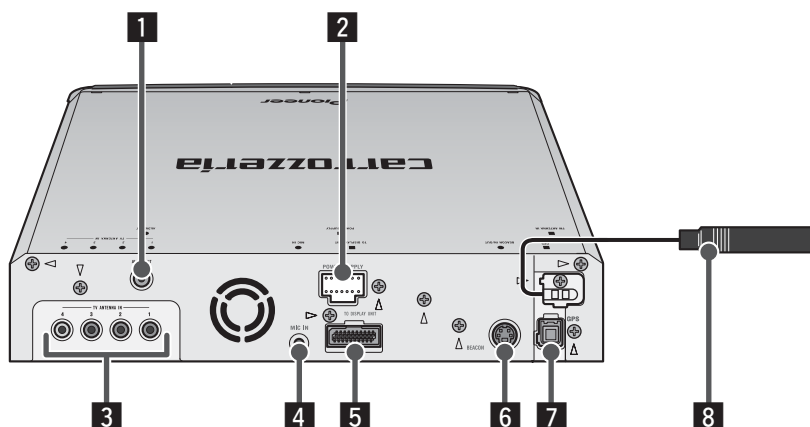
- ピンクリード線（車速信号入力）は、内蔵の3Dハイブリッドセンサー用のリード線です。必ず接続してください。
- ピンクリード線を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式で動作し、誤差が大きくなる場合があります。
- ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）をお使いください。

コネクターの着脱のしかた

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続端子のなまえと働き



1 TV音声出力端子 (RCA:モノラル)

別売のFMトランスミッター(例:CD-FM30)を使うときは、ここへ接続します。

2 電源

付属の電源ケーブルを接続します。

3 TVアンテナ接続端子1~4

付属のTVアンテナを接続します。1から順に接続してください。

4 マイク入力端子 (黒)

別売の音声認識用マイク「CD-VM10」を使うときは、ここへ接続します。

5 TVモニター接続端子 (緑)

付属のTVモニターを接続します。

6 ビーコン受信機接続端子

付属のVICS用ビーコン受信機を接続します。

7 GPSアンテナ接続端子 (緑)

付属のGPSアンテナを接続します。

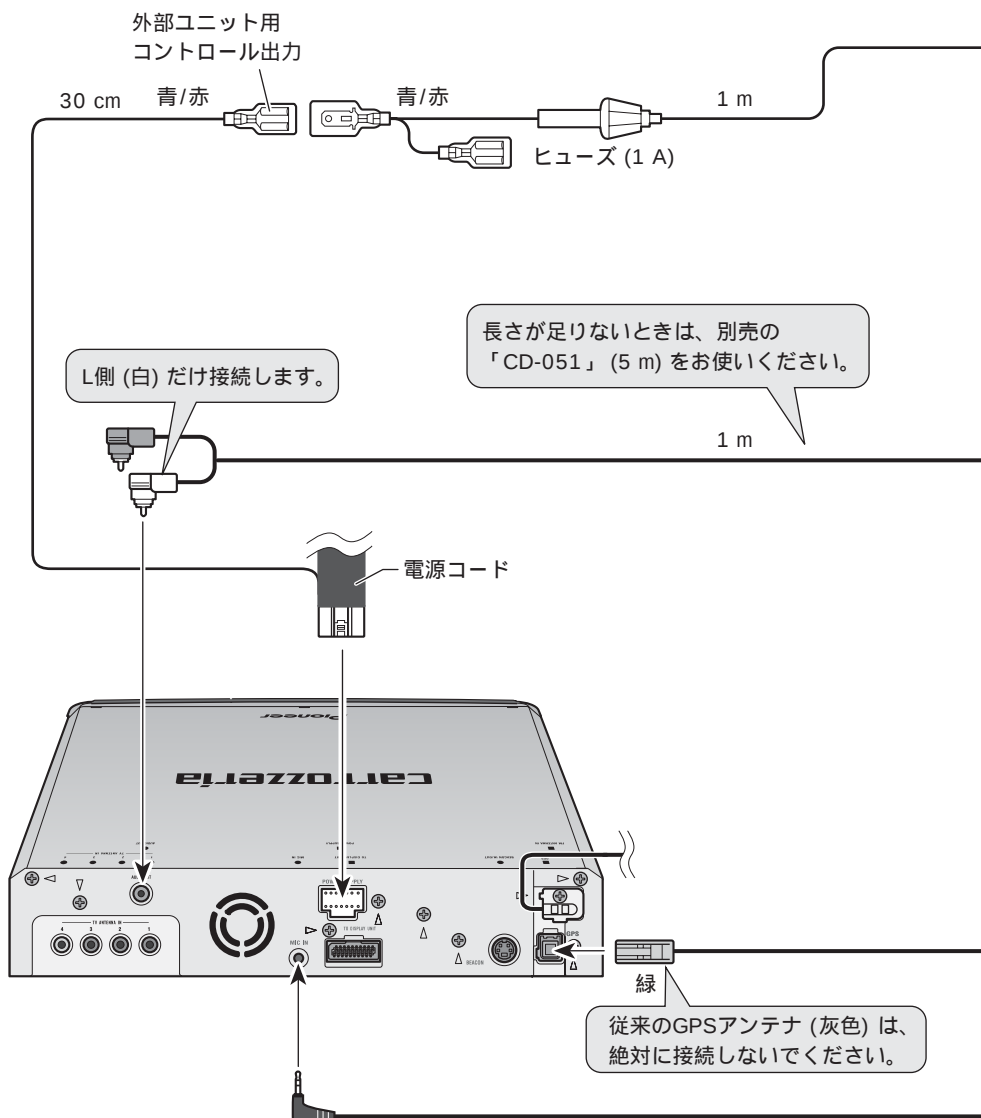
従来製品 (AVIC-D919など) に付属のGPSアンテナ (灰色) とは互換性がありません。絶対に接続しないでください。

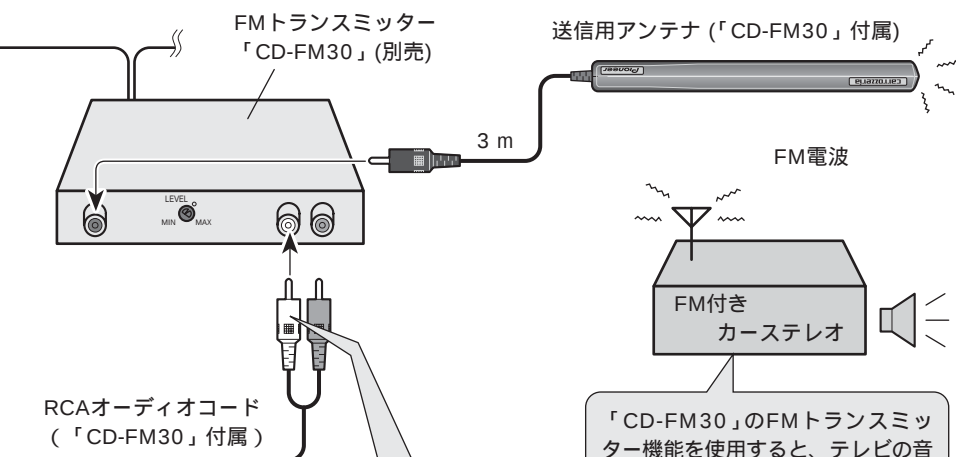
8 VICS/FM多重アンテナ接続端子

VICS/FM多重放送を受信するためのアンテナを接続します。専用のアンテナを接続する方法、車載のアンテナを接続する方法、TVアンテナを接続する方法の、3つの接続方法があります。(P.16ページ)

システムの接続（１）

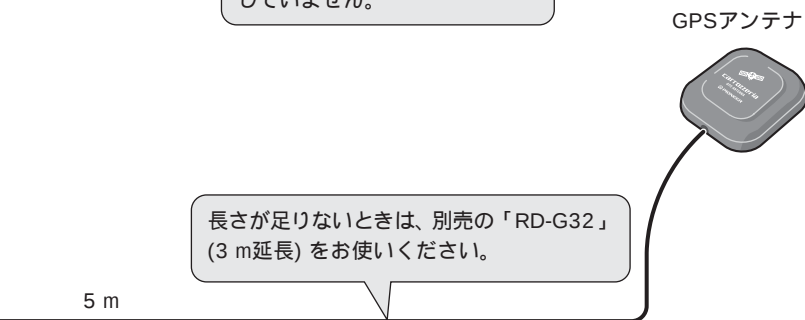
— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —



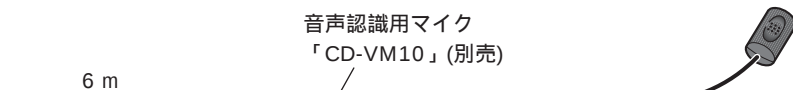


必ずRCAオーディオ入力端子の
L側 (白) に接続してください。
L側 (白) はモノラル音声に対応
していますが、R側 (赤) は対応
していません。

「CD-FM30」のFMトランスミッ
ター機能を使用すると、テレビの音
声をカーステレオのスピーカーから
出力することができます。



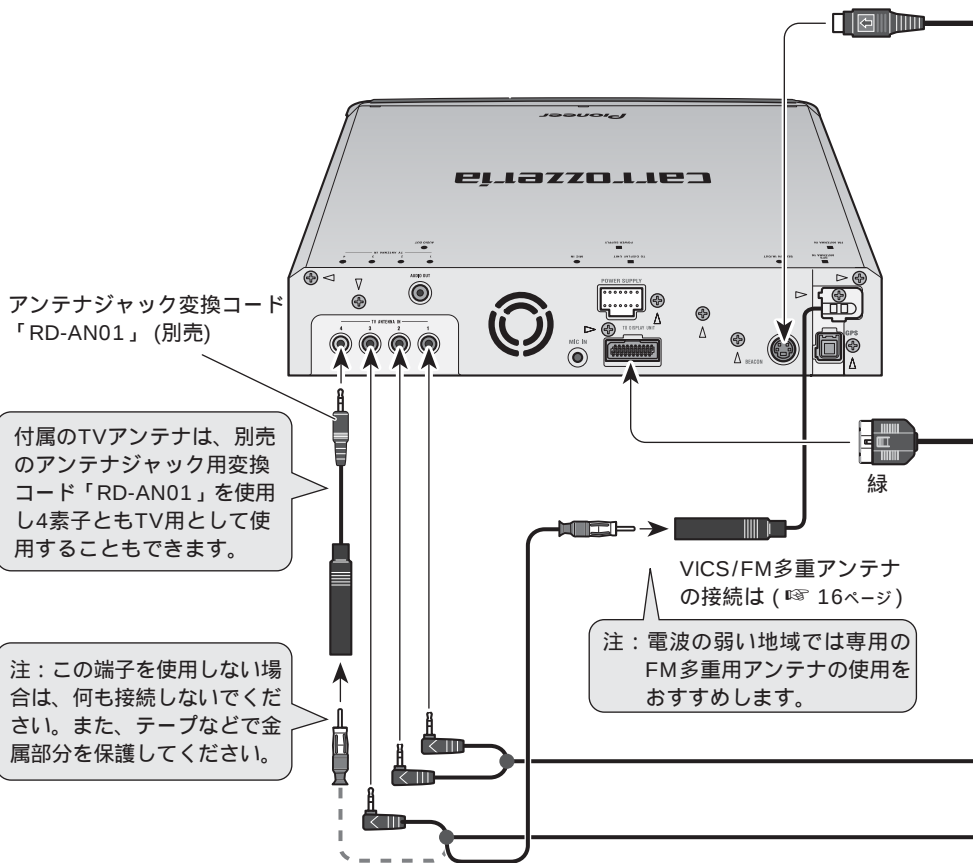
長さが足りないときは、別売の「RD-G32」
(3 m延長) をお使いください。

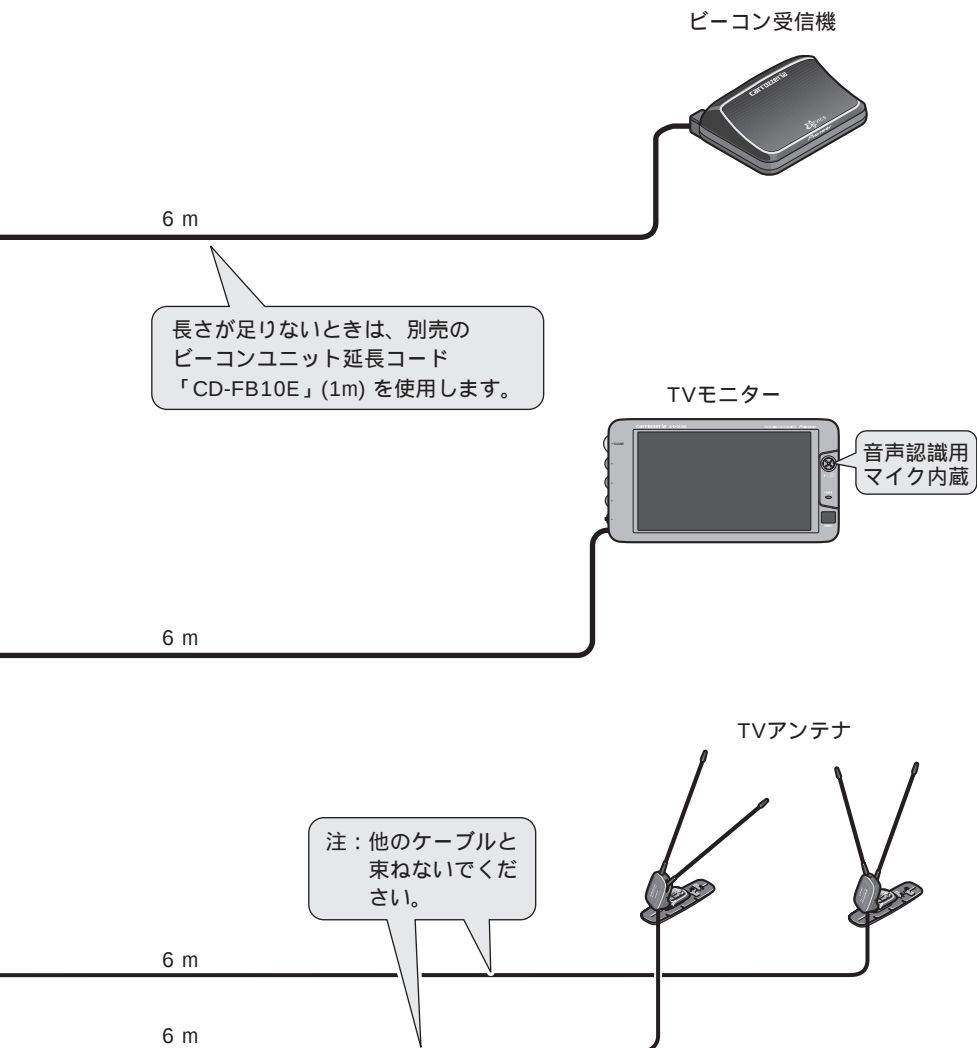


TVモニターの設定位置などにより、
TVモニター内蔵のマイクで音声がよく
認識されないときに接続します。

●システムの接続（２）

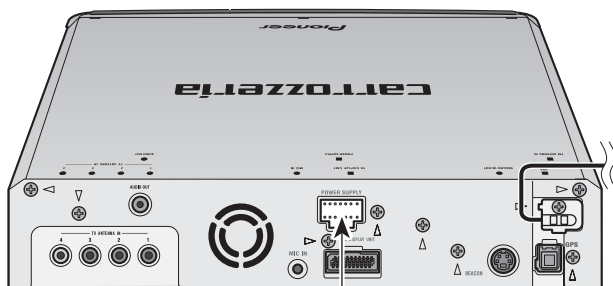
— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —





電源コードの接続 (1)

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —



アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション本体の近くに接続してください。

ピーコンコントロール

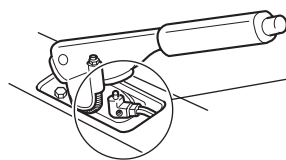
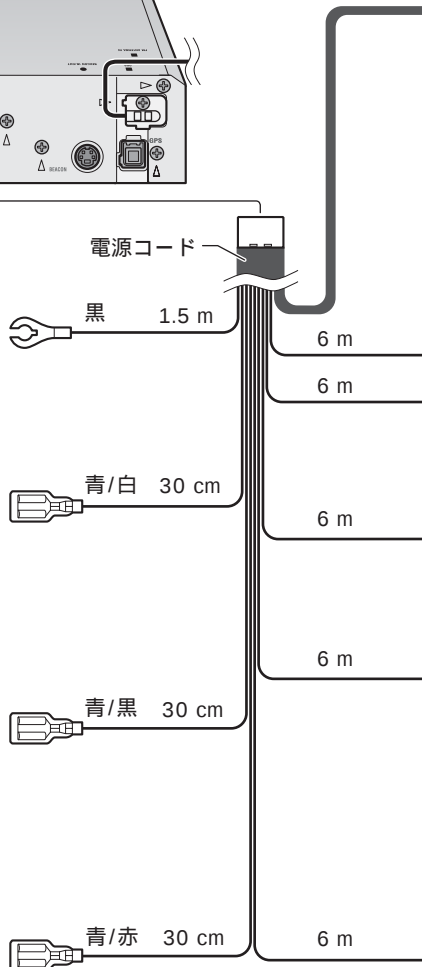
本機では使用しません。何も接続しないでください。

オートアンテナリモートコントロール

FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売) を使用して車載のアンテナを接続するときに、「RD-FD20」の青/黒リード線 (オートアンテナリモートコントロール) に接続してください。

外部ユニット用コントロール出力

FMトランスミッター「CD-FM30」(別売) のON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。) 「CD-FM30」の青/赤リード線に接続してください。それ以外は何も接続しないでください。



他のコードの接続は (14 ページ)

ミュート

パイオニア製のカーステレオと組み合わせるときに、カーステレオに黄/黒リード線 (ミュート) がある場合、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。ガイド音声が出力されるときや音声で操作するときに、カーステレオにオーディオミュートがかかり音量が小さくなります。(オーディオミュートをかける条件は変更することができます。詳しくは『ナビゲーションブック』)

アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けないでください。バッテリー上がりの原因になります。

イルミ電源

車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路 (時計の照明回路やスモールランプ回路など) に接続してください。

+ バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注: 赤、黄、橙リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

パーキングブレーキ

車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

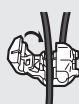
パーキングブレーキスイッチ

若草色

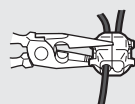
+ 側

アース側

接続方法



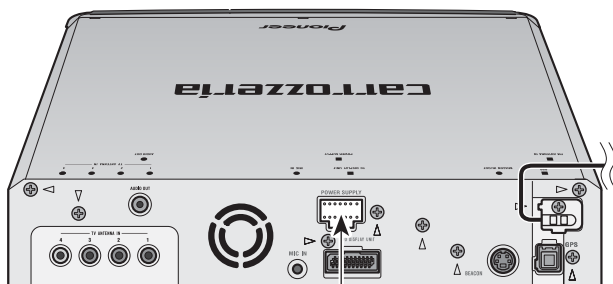
パーキングブレーキスイッチの+側リード線をはさみ込む。



ラジオベンチで強くはさむ。

電源コードの接続 (2)

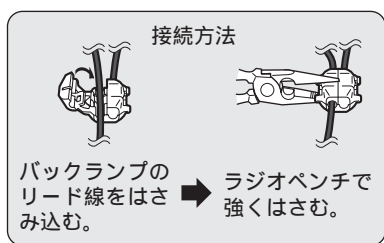
— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —



電源コード

他のコードの接続は
(12 ページ)

紫/白 6 m



バック信号入力

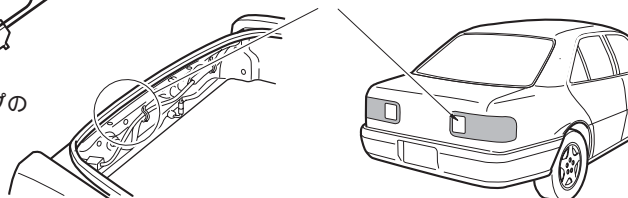
バックランプのリード線の「シフトレバーをリ
バースの位置にしたときに電圧が変化する線」
に接続してください。この接続は車の前進後退
を判断するためのものです。車速パルス発生機
「ND-PG1」(別売) を使用する場合には必ず接
続してください。

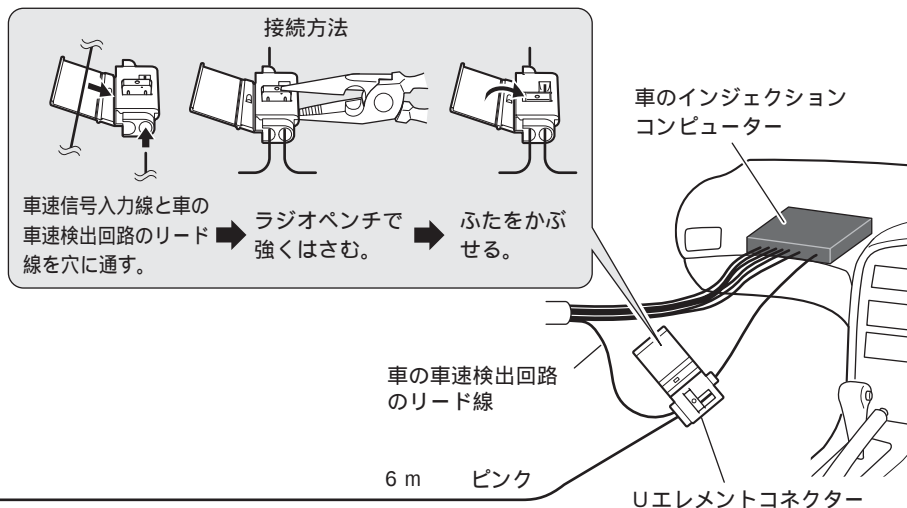
接続しない場合は、内蔵の加速度センサーで車
の前進後退動作を判断します。この場合、「ND-
PG1」を正しく使用することはできません。

バックランプ(シフトレバーがリバース [R]
のときに点灯するランプ)の位置を確認し、
トランク内からバックランプのリード線を取
り出します。

ヒューズ抵抗

バックランプの
リード線





車速信号入力

車の走った距離を検出するために使用します。必ず車の車速検出回路に接続してください。(車の車速検出回路への接続が困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続することもできます。)

インジェクションコンピューターの車速検出回路や、パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

VICS/FM多重アンテナの接続

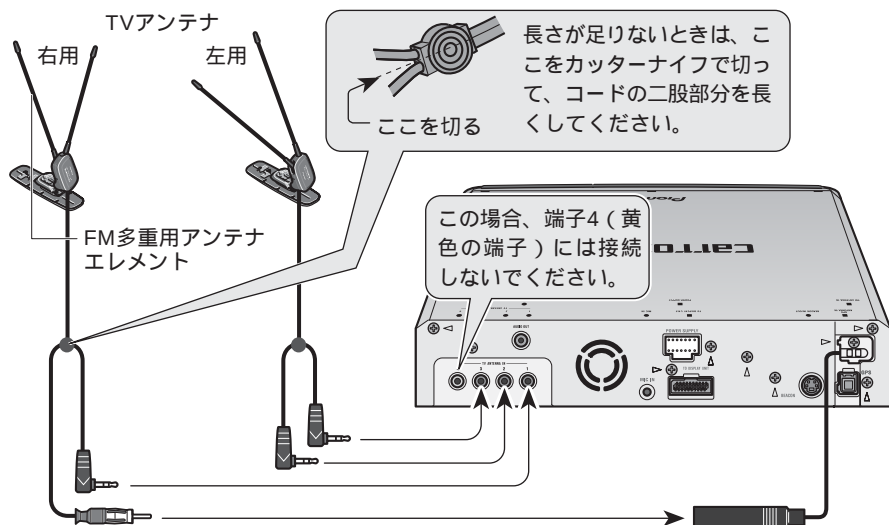
— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —

接続のポイントと接続上のご注意

- TVアンテナを車室内に取り付けた場合や、別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は、FM多重用には使用できません。接続しないでください。
- 電波の強い地域（首都圏中心部）では付属のTVアンテナを車室外に取り付けた場合に限り、FM多重用として使用できます。
- 電波の弱い地域（首都圏中心部以外の地域）で、TVアンテナをFM多重用として使用すると、FM多重放送を感度良く受信できない場合があります。
- 電波の弱い地域、または付属のTVアンテナを車室内に取り付けた場合には、FM多重用には、専用のアンテナ「AN-8」（別売）または「AN-F10」（別売）を接続するか、FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」（別売）を使用して車載のアンテナを接続してください。
この場合、付属のTVアンテナは「RD-AN01」（別売）を使用し4素子ともTV用として使用することもできます。
- 車載のアンテナがガラスアンテナの場合は、車載のアンテナでは十分な受信感度が得られないことがあります。できるだけ専用のアンテナを接続することをおすすめします。
- VICS/FM多重アンテナ接続端子に接続されるアンテナケーブルは、他の接続ケーブルと束ねないでください。

TVアンテナを接続する方法

電波の強い地域では、付属のTVアンテナの1素子を接続することもできます。
（付属のTVアンテナを車室外に取り付けた場合に限ります。）

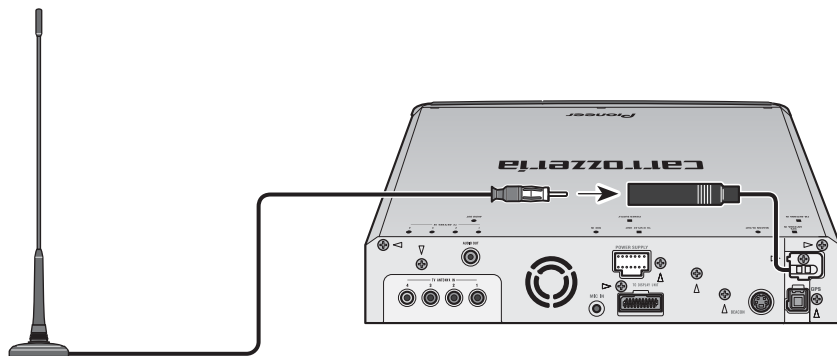


専用のアンテナを接続する方法

専用のアンテナ「AN-8」(別売)または「AN-F10」(別売)を接続します。

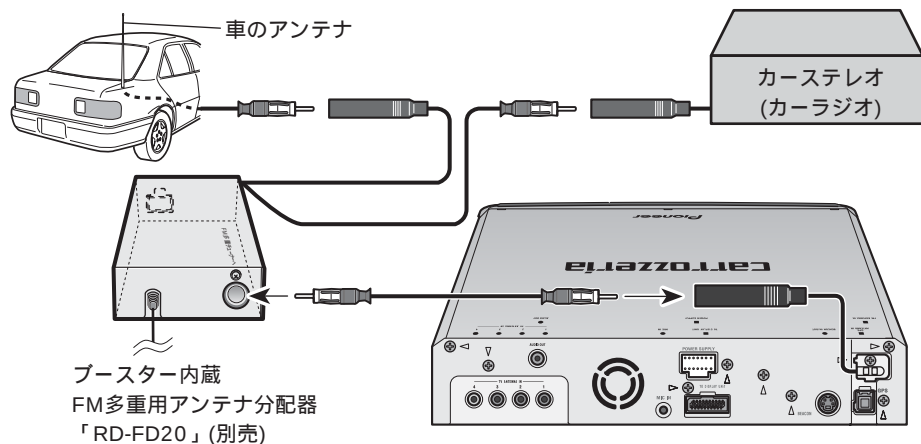
注：別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は使用できません。接続しないでください。

FM多重用アンテナ
「AN-F10」(別売)



車載のアンテナを接続する方法

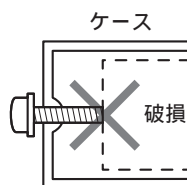
ブースター内蔵FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続します。車載のアンテナがオートアンテナの場合は、本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナが上下するように設定してください。(P.44ページ)



取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに入れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

- マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

ノイズ防止のために

- TVアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。TVアンテナは、TVアンテナの取り付け (E33-36ページ) の説明に従って正しく取り付けてください。

- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- * TVアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM多重用アンテナおよびそのアンテナコード
- * ビーコン受信機およびそのアンテナコード

それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

ナビゲーション本体の取り付けについて

2つの取り付け方法があります

- トランク内の床に取り付ける方法

粘着テープで固定するため、車を加工することなく取り付けことができますが、取り付け強度はトランク内の取付ボードに取り付ける方法に比べると弱くなります。

- トランク内の取付ボードに取り付ける方法

トランク内に設置した取付ボードに穴を開けて、ネジで取り付けます。しっかりと固定することができます。

ナビゲーション本体の取り付け

取り付け上のご注意

- 次のような場所には絶対に取り付けないでください。高温により故障する恐れがあります。

* ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。

* ヒーターの吹き出し口の近く。

- ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けないでください。

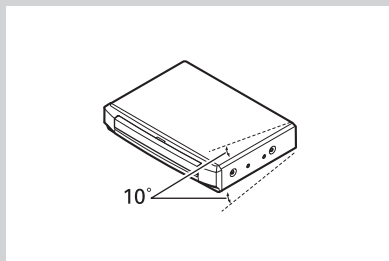
- しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。しっかりと固定されていないと、現在地を正しく表示できなくなります。

- スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けないでください。

- 荷物などが当たる場所には取り付けないでください。強い衝撃が加わると、現在地を正しく表示できなくなります。

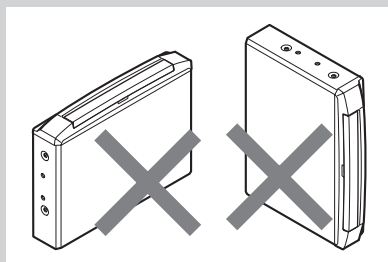
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。また、ディスクが出し入れできることを確認してください。

- 上下の傾きは、水平に対して、10度以内の角度で取り付けてください。角度が大きくなると、現在地を正しく表示できなくなります。

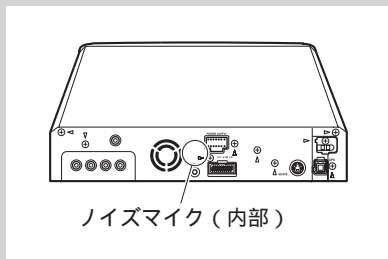


- ナビゲーション本体を設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が働き動作停止することがあります。このような場所には取り付けないでください。

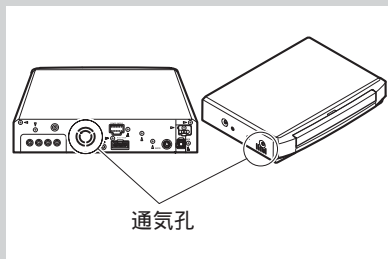
- 縦置きしないでください。故障の原因となります。また、裏返して取り付けないでください。



- ナビゲーション本体には音声認識用のノイズマイク（車内の雑音を検知するマイク）が内蔵されています。ノイズマイクの内蔵部分にカーペットなどをかぶせないでください。ノイズマイクの働きが悪くなります。



- 内部の温度上昇を防ぐため、本体側面に通気孔が開けてあります。この通気孔を塞がないでください。

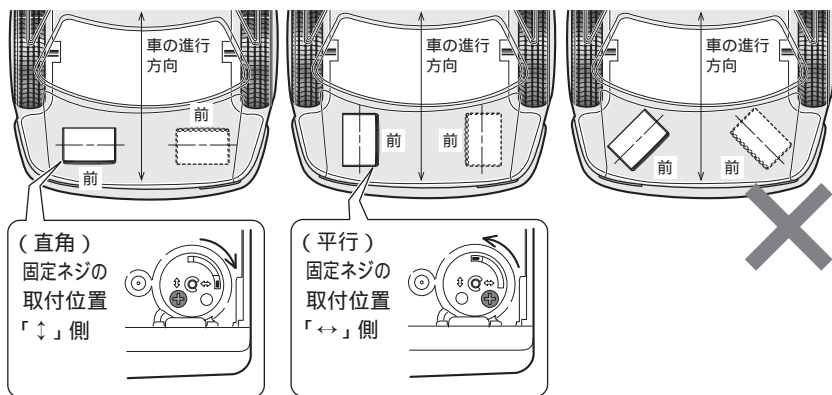


ナビゲーション本体の取り付け

つづき

取り付ける向きについてのご注意

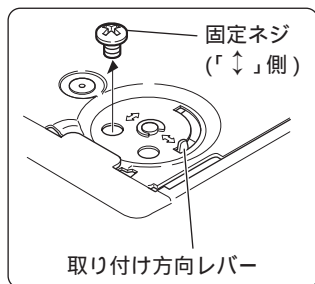
- ナビゲーション本体の左右が、車の進行方向に対して直角または平行になるように取り付けてください。斜めには取り付けしないでください。車の進行方向に対して斜めに取り付けると、現在地を正しく表示できなくなります。
- ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、内蔵のGセンサーを正しく動作させるため、必ず本体底面の取り付け方向レバーを切り換え、固定ネジを「↔」側に取り付けください。



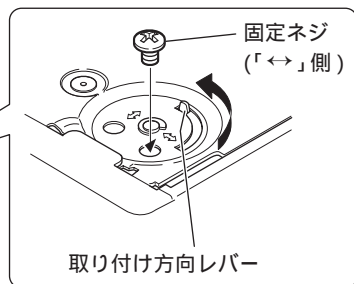
ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは

ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、本体底面の固定ネジを取り外して取り付け方向レバーを切り換え、固定ネジを「↑↓」側から「↔」側に取り付けなおしてください。「↑↓」側に取り付けたままだと、内蔵のGセンサーが正しく動作しません。

1 取り付け方向レバーの固定ネジを取り外す



2 レバーを切り換え、固定ネジを「↔」側に締める

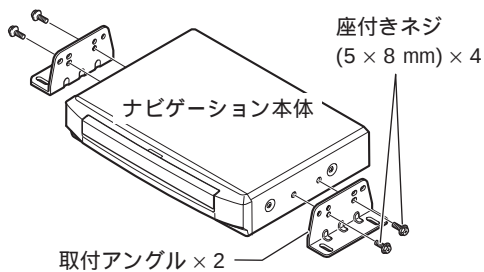
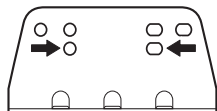


取付アングルを取り付ける

取付アングルをナビゲーション本体に取り付ける

ナビゲーション本体を車に取り付けるために、取付アングルをナビゲーション本体に取り付けます。

取付アングルの次の穴を使用します。

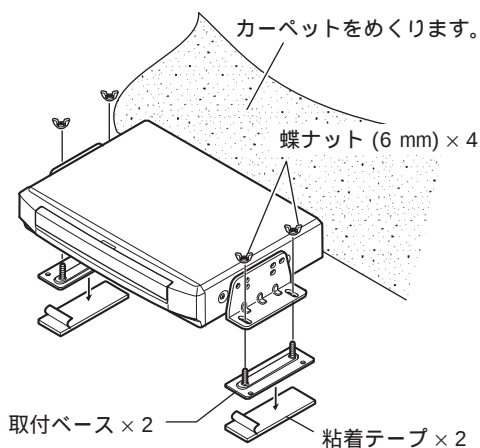


ナビゲーション本体の取り付け

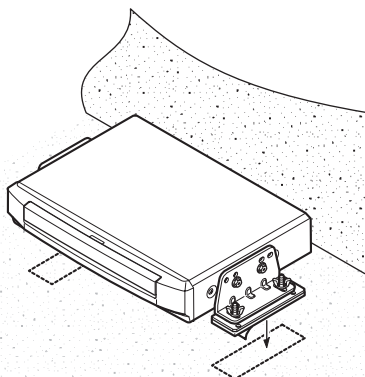
つづき

トランク内の床に取り付ける場合

1 取付アングルに取付ベースを取り付ける

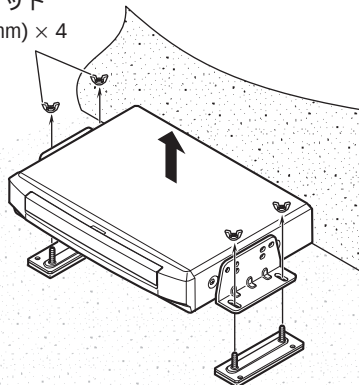


2 取り付け位置を決め、粘着テープを貼る



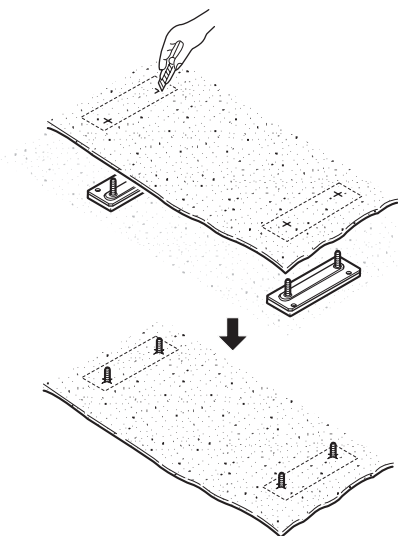
3 蝶ナットを外し、本体を一度取り外す

蝶ナット
(6 mm) × 4

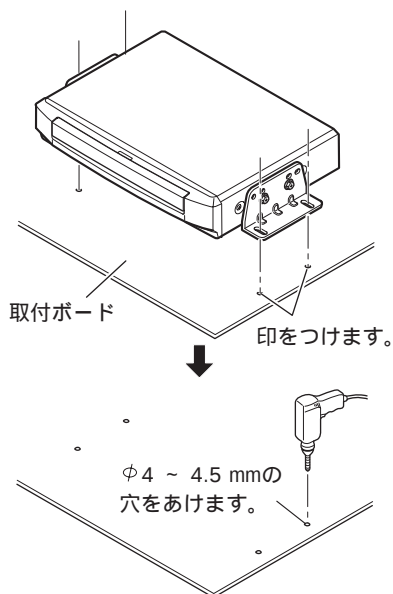


トランク内の取付ボードに取り付ける場合

4 カーペットを元に戻し、ネジ部をカーペットの上に出す

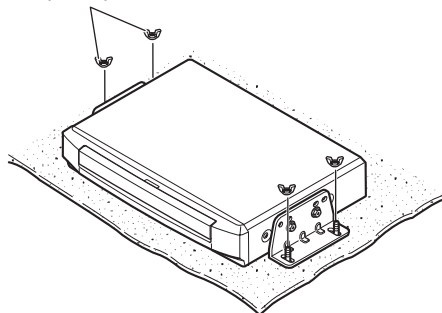


1 取り付け位置を決め、穴を開ける



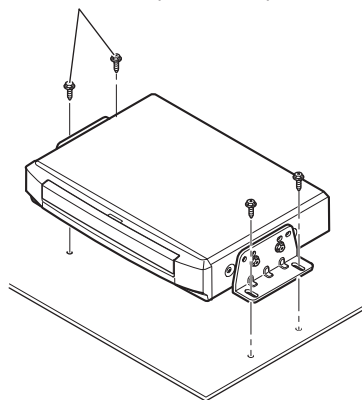
5 本体を取り付け、しっかり固定する

蝶ナット
(6 mm) × 4



2 タッピングネジで、しっかり固定する

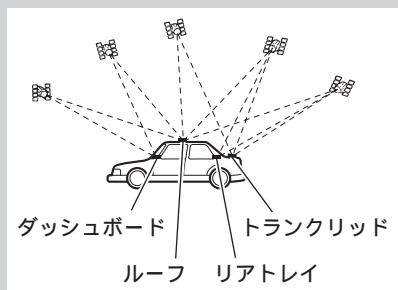
タッピングネジ (6 × 16 mm) × 4



GPSアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

- GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。(どの方向からも電波が受信できるように、できるだけ車外のルーフやトランクリッドに取り付けてください。)



- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPSアンテナを車内に取り付ける場合は、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。

- 付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- GPSアンテナは、ナビゲーション本体から30cm以上離して設置してください。また、あまったGPSアンテナコードをまとめて置くときも、ナビゲーション本体から30cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下してしまいます。
- GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。アンテナに付いている磁石が強力なため、コードが抜けてしまうことがあります。
- GPSアンテナは磁石で取り付けます。アンテナを車のボディに取り付ける場合は、ボディを傷つけないように慎重に取り付けてください。
- GPSアンテナを車外に取り付けた場合、自動洗車機で洗車するときは、アンテナを取り外して車内にしまってください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。

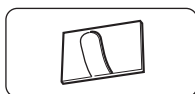
車内 (ダッシュボードやリアトレイの上) に取り付ける場合

なるべく水平な場所、またはアンテナがウィンドの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

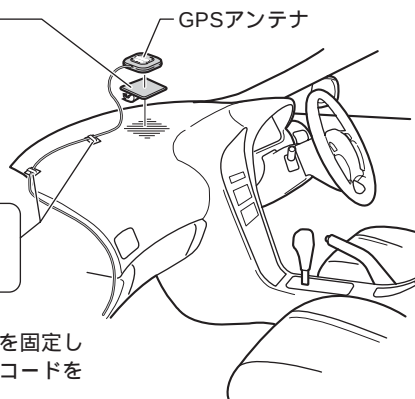
金属シート
必ず使用してください。裏面の保護シートをはがして貼り付けます。

メモ

- 車のウィンドガラスの一部に、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けたときに、GPS衛星からの電波を受信しにくい場合は、一度アンテナを車外に取り付けてみてください。



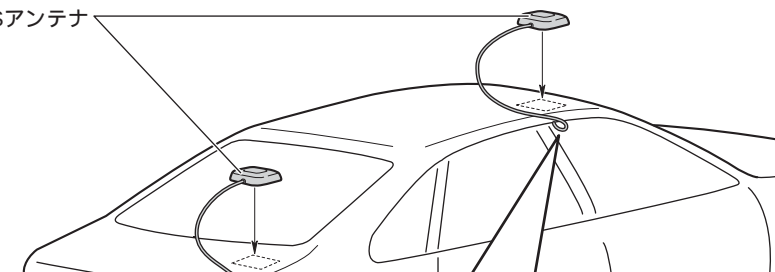
クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。



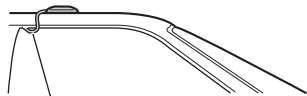
車外 (車のボディ) に取り付ける場合

車のルーフやトランクリッドの、なるべく水平な場所にGPSアンテナを置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

GPSアンテナ



アンテナコードをドアの上側から車内に引き込む場合

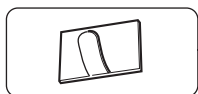


雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードを外側でU字形に曲げます。



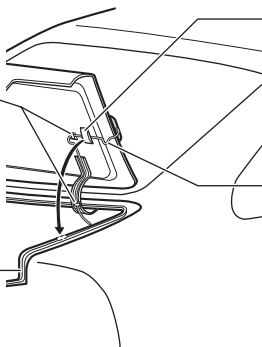
クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

アンテナコードをトランク内に引き込む場合



クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

ゴムパッキング



防水パッド
トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

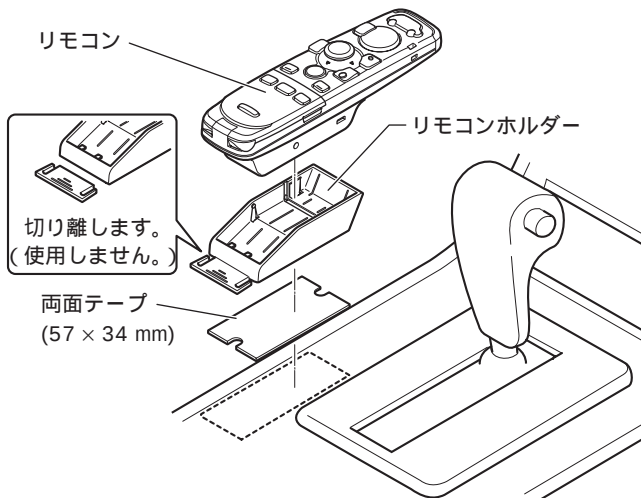
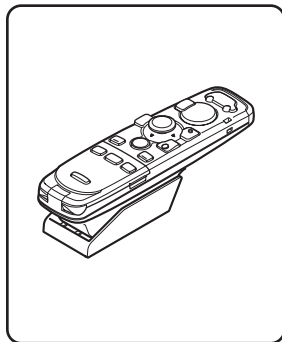
雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

リモコンの取り付け

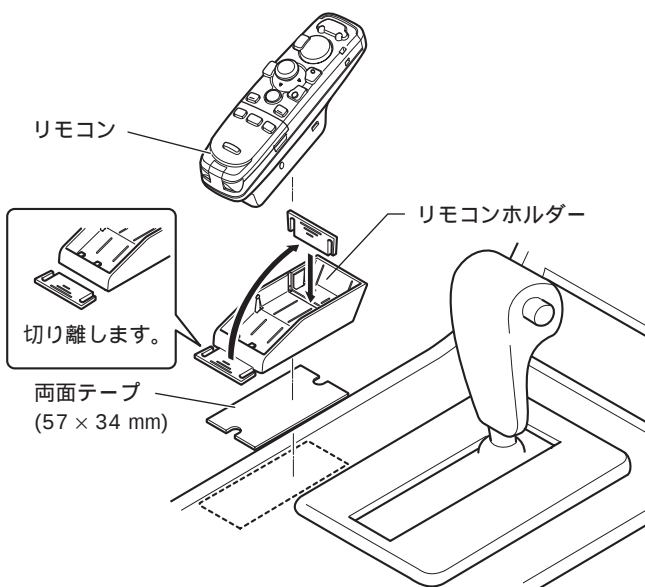
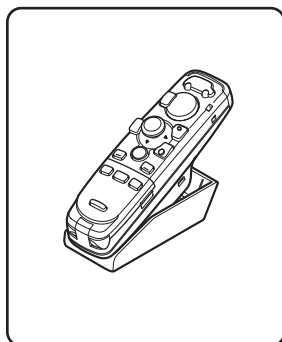
両面テープで取り付ける場合

付属の両面テープ (57 × 34 mm) を使用して、リモコンホルダーを貼り付けます。

■ 水平にセットする場合



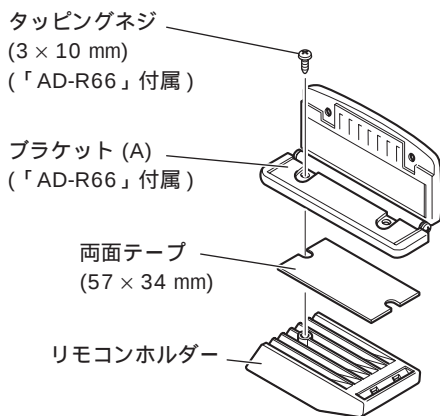
■ 上向きにセットする場合



別売の「AD-R66」を使用して取り付ける場合

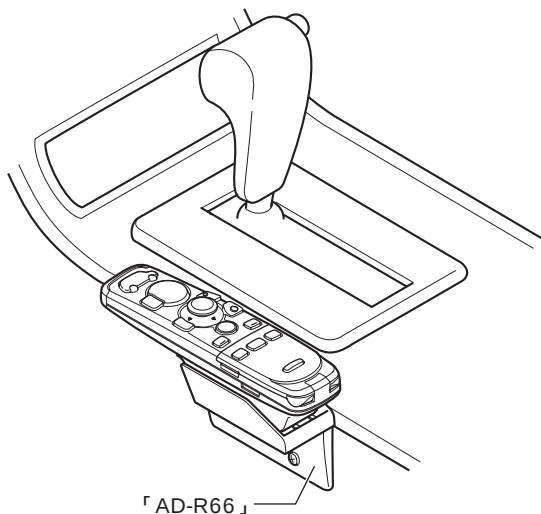
センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にリモコンの取り付けスペースがない場合は、別売のメインコントローラーアタッチメント「AD-R66」を使用して取り付けます。

1 「AD-R66」に付属のブラケット (A) に リモコンホルダーを取り付ける



2 「AD-R66」を 車に取り付ける

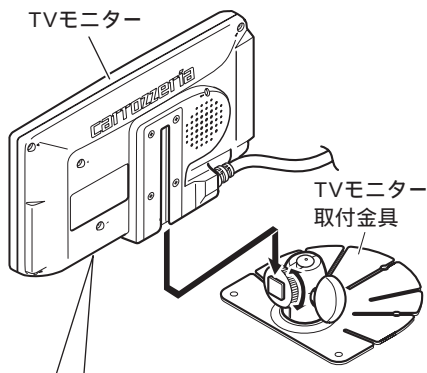
「AD-R66」の『取付説明書』を参照して、車に取り付けます。



TVモニター取り付け

ダッシュボードの上に置くTVモニターを、取付金具で固定します。

1 TVモニターに取付金具を取り付ける



スペーサー × 2

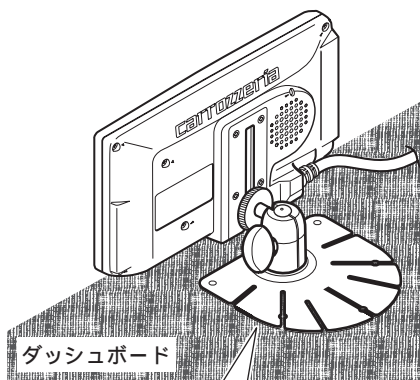


2 TVモニターを取り付ける位置を決める

TVモニター取付金具の裏側の保護シートをはがさずにダッシュボードに当て、TVモニターを取り付ける位置を決めます。

次の場所を選んでください。

- * 運転の妨げにならない場所。
- * エアバッグなど車の安全装置の妨げにならない場所。
- * TVモニターを傾けてもフロントガラスに当たらない場所。
- * TVモニターの底面がダッシュボードに当たる場所。
- * 内蔵マイクが音声を拾いやすい場所。



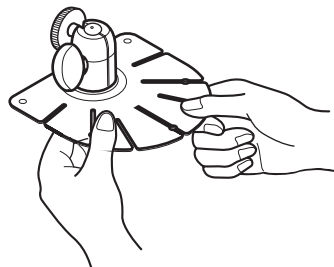
⚠ 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグでモニターが飛ばされ、事故やけがの原因となります。

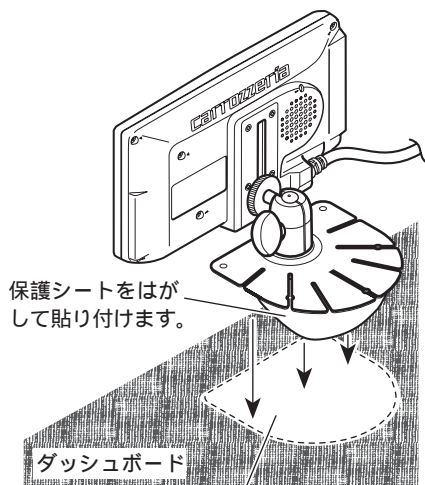
⚠ 注意

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

ダッシュボードの形状に合うように、曲げてください。



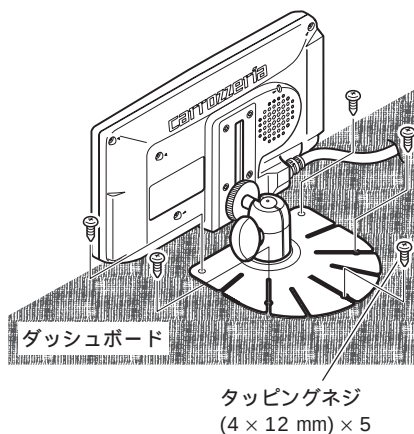
3 TVモニターをダッシュボードに張り付ける



TVモニターを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。

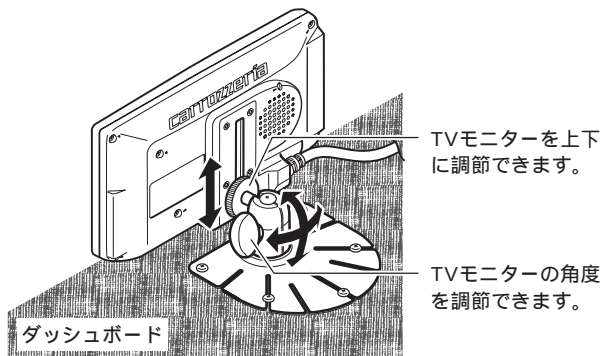
4 タッピングネジで固定する

タッピングネジで、TVモニター取付金具をダッシュボードにしっかりと固定します。



5 TVモニターの底面がダッシュボードに当たるように調節する

TVモニターを安定させるため、TVモニターの底面がダッシュボードに当たるように (TVモニターをダッシュボードの上に置くように)、上下の高さを調節してください。また、TVモニターを見やすい角度に調節してください。



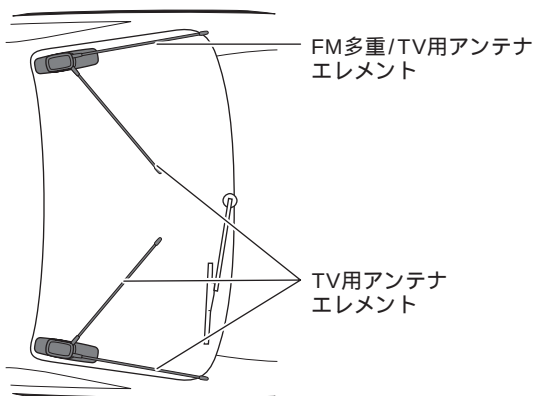
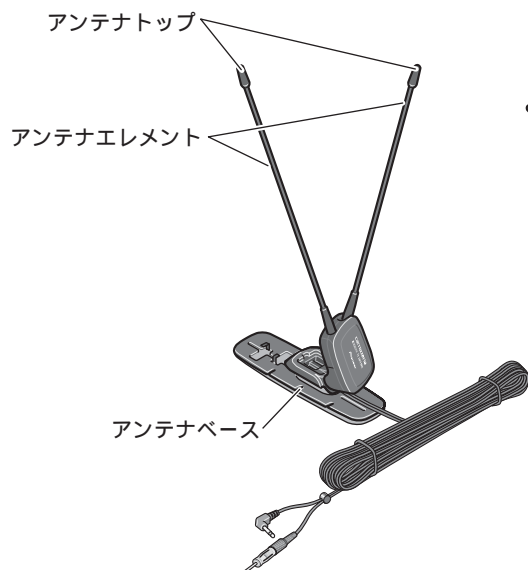
ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TVアンテナの取り付け

各部のなまえ

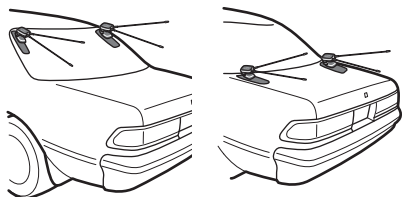
右用

左用

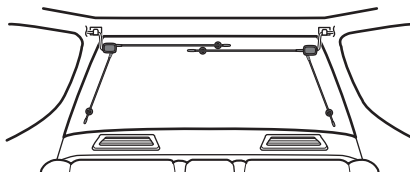


取り付け場所について

- アンテナを車室外に取り付けるときは、リアガラスまたはトランクリッドに両面テープで貼り付けます。



- アンテナを車室内に取り付けるときは、リアガラスに両面テープで貼り付けます。



- ガラスアンテナや熱線の上には絶対に取り付けしないでください。
- アンテナのエレメントが車幅からはみ出ない場所、また、車の後端より後にはみ出ない場所に取り付けてください。なお、1ボックスカーや2ボックスカーの車室外のリアガラスには、絶対に貼り付けしないでください。

1ボックスカー 2ボックスカー



取り付け上のご注意

- アンテナは確実に貼り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。
- アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。湿気、油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- 確実に貼り付けるため、取り付けは、天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- 気温が低いときにガラス面に取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、両面テープの接着面と取り付け場所を、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして暖めておいてください。(20℃以上)

- リアガラスアンテナ車の場合は、トランクリッドに取り付けてください。リアガラスに取り付けた場合、本機の電源を入れたままカーステレオでラジオ放送を受信すると、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。
- 両面テープの接着面は、指で触ったり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- 取り付け後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)に当てないでください。また、高速走行など、アンテナに無理な力が加わるようなことはしないでください。

FM多重用としてご使用になる場合

- 「VICS/FM多重アンテナの接続」(P.16ページ) もあわせてご覧ください。

TVアンテナの取り付け

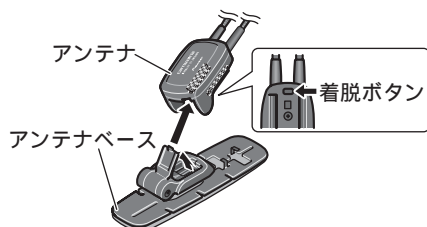
つづき

リアガラスに取り付ける場合

- トランクを開けたときに、トランクがアンテナのエレメントに当たらない位置 (できるだけ高い位置) に取り付けてください。
- リアワイパーの可動範囲を確認し、リアワイパーの可動範囲内には絶対に取り付けないでください。

1 アンテナを外す

アンテナをアンテナベースから取り外します。
(P. 39ページ)



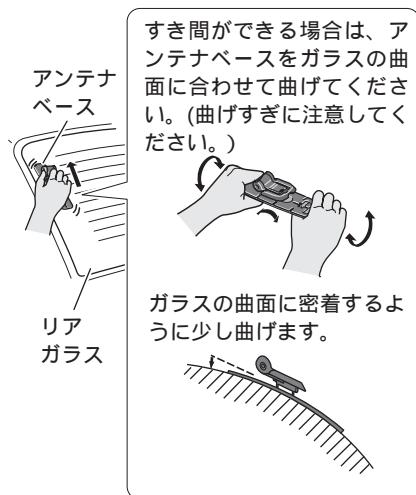
3 クリーナークロスで、汚れ、油などを取り除く

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



2 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースを、裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、アンテナベースとガラス面に、できるだけすき間のできない位置をさがします。



4 気温が低い時はリアガラスを暖める

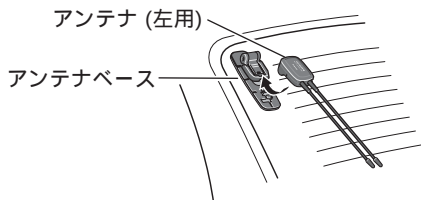
接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォガススイッチをONにして、リアガラスを20℃以上に暖めます。

5 アンテナベースをリアガラスに貼り付ける

裏面の保護シートをはがし、先端から徐々に貼り付けます。

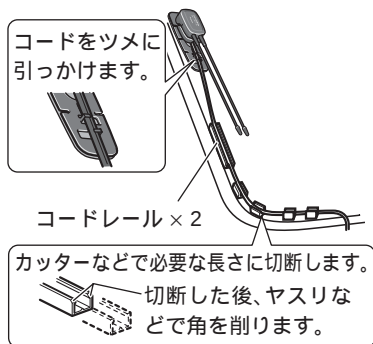


6 アンテナを取り付ける (E 39ページ)



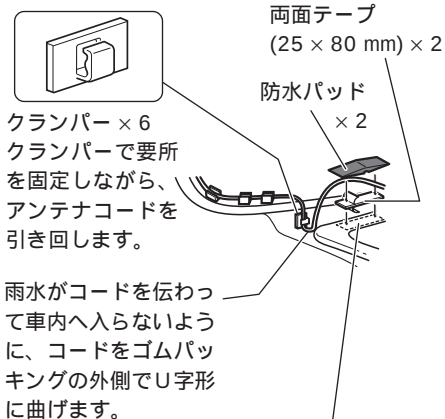
7 アンテナコードを固定する

付属のコードレールをリアガラスに貼り付け、コードを固定します。



8 アンテナコードを車内に引き込む

付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。

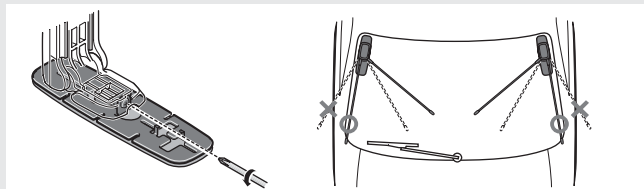


防水パッドにアンテナコードをはさみ、両面テープでゴムパッキングの上に貼り付けます。

取り付けかた

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのばしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースのネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。



TVアンテナの取り付け

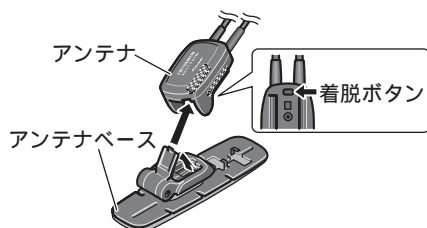
つづき

トランクリッド（車室外）に取り付ける場合

- TVアンテナが脱落する危険があるので、フッ素樹脂加工および再塗装されたボディには貼れません。
- トランクを開けたときに、アンテナのエレメントがリアガラスなどに当たらない位置に取り付けてください。

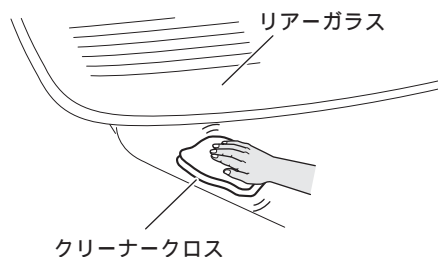
1 アンテナを外す

アンテナをアンテナベースから取り外します。
(P. 39ページ)



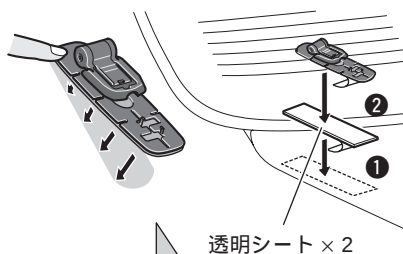
2 クリーナークロスで、汚れ油などを取り除く

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



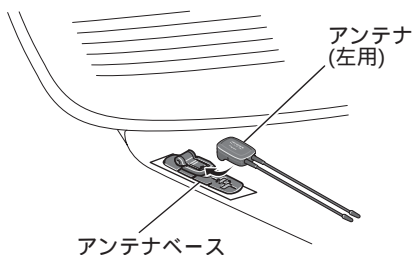
3 アンテナベースをトランクリッドに貼り付ける

- ① 透明シートをトランクリッドに貼り付けます。
- ② 透明シートにアンテナベースを貼り付けます。



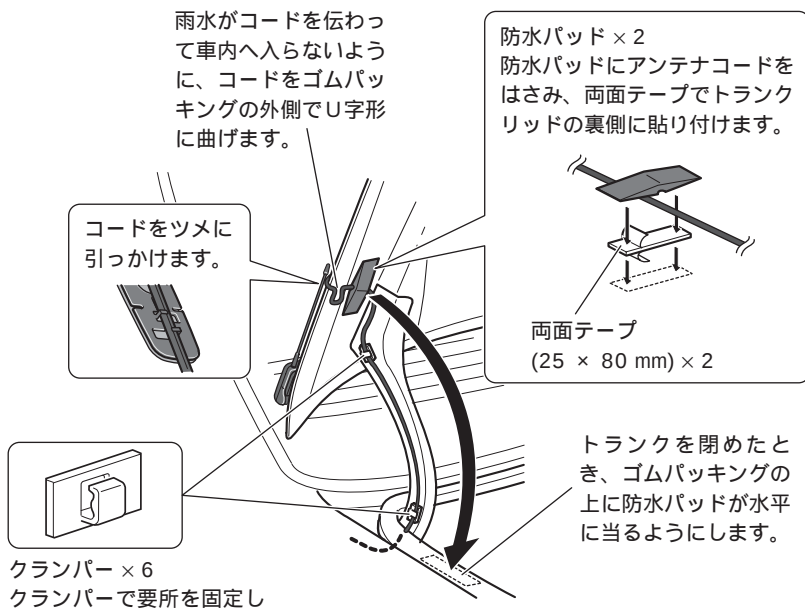
トランクリッドに密着するように、指で強く押しつけてください。

4 アンテナを取り付ける (P. 39ページ)



5 アンテナコードを 車内に引き込む

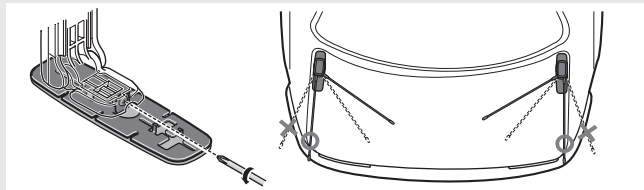
付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。



取り付けた

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのばしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースのネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TVアンテナの取り付け

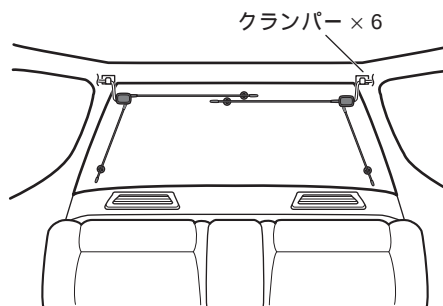
つづき

車室内に取り付ける場合

⚠必ずお守りください

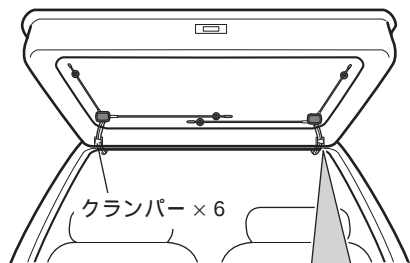
- エレメントの先端は、必ず付属のホルダーで固定してください。外れた状態で使用になると、アンテナが脱落したり、エレメントの先端でケガをする場合があります。
- 設置後は、幼児のいたずらにご注意ください。思わぬケガの原因となる場合があります。
- 電波の強い地域（首都圏中心部）ではTVアンテナを車室内に取り付けられる場合があります。電波の弱い地域では車室外に取り付けてください。
- 車室内に取り付けた場合、車室外に取り付けた場合と比較してテレビの映りが悪くなります。テレビの映りが悪い場合はアンテナを車室外に取り付けてください。
- TVアンテナの受信状態をできるだけ良くするために、下図のようにリア（リアハッチ）ガラスにTVアンテナを下向きに取り付けることをおすすめします。また、できるだけエレメントをのばして取り付けてください。
- 断熱ガラスを使用した車および熱線遮断フィルムを使用した車では、その一部に電波を通しにくい種類のものがあり、受信できないことがあります。お車のガラス、フィルムの種類をお確かめください。
- フロントガラスや運転の妨げになるガラスへ取り付けないでください。
- 車のガラスの大きさや角度により取り付けができない場合があります。アンテナを取り付ける前に確認してください。
- 取り付けの際は、ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20 mm以上あけてください。ガラスの端に近づけすぎると、テレビの映りが悪くなる場合があります。
- 車のラジエーターファンのモーターや、ヒーターのモーターなどからノイズが飛び込み、映像が影響を受ける場合があります。

例1：リアガラス取り付け



アンテナをできるだけ高い位置に取り付けると、受信感が良くなります。

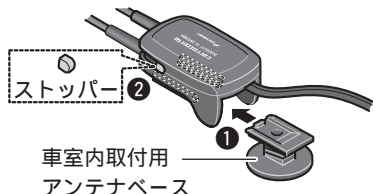
例2：ハッチバックガラス取り付け



バックの開閉の際に、ケーブルが引っ張られたりじゃまにならないように、クランパーを使用して要所を固定してください。

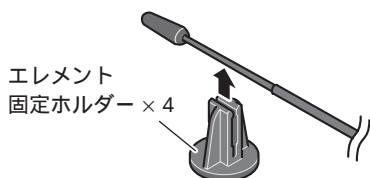
1 車室内取付用アンテナベースを取り付ける

アンテナから車室外取付用アンテナベースを取り外し(※ 39ページ)、① 車室内取付用のアンテナベースに取り付けます。② ゴムのストッパーを外します。



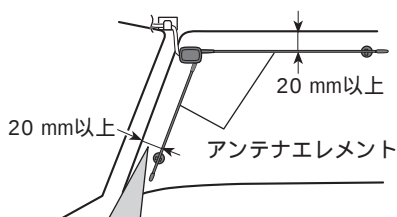
2 エレメント固定ホルダーをアンテナに取り付ける

各エレメントの先端部にエレメント固定ホルダーを取り付けます。



3 アンテナを貼り付ける位置を決める

車室外取付用アンテナベースとエレメント固定ホルダー裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、取り付け位置を決めます。



ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20 mm以上あけてください。ガラスの端に近づきすぎると、性能を十分に発揮できない場合があります。

4 クリーナークロスで、汚れ油などを取り除く

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



5 気温が低い時はリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォガススイッチをONにして、リアガラスを20℃以上に暖めます。

6 アンテナを取り付ける

車室外取付用アンテナベースとエレメント固定ホルダー裏面の保護シートをはがし、アンテナを固定します。次に付属のクランパーを使用して、アンテナケーブルを固定します。(※ 前ページ)





TVアンテナの取り付け

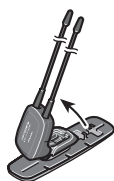
つづき

アンテナの使いかた

1 アンテナを 起こす



右用



左用

2 内側エレメントを 横にずらす

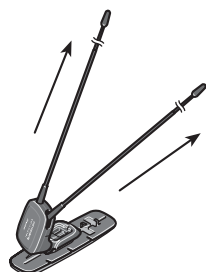


右用

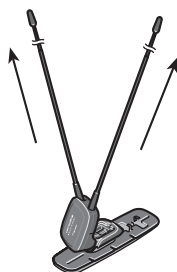


左用

3 アンテナエレメントを いっぱいにする



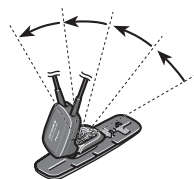
右用



左用

4 アンテナ角度を 調節する

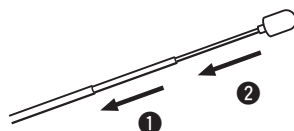
アンテナの角度は、5段階に設定できます。受信感度の良い角度に調節してください。



- 水平よりやや上向きに調節してください。

アンテナエレメントを収納 するときの注意

エレメントの太い部分から順に収納してください。先端は細くなっていますので、ていねいに扱ってください。

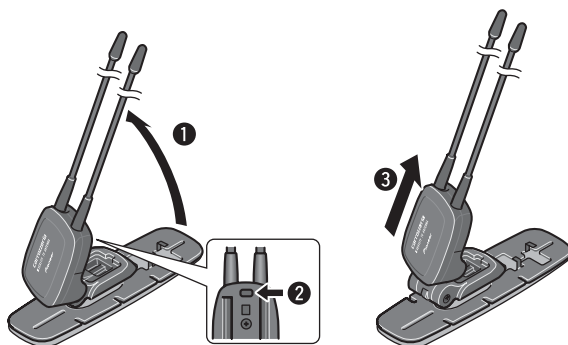


アンテナの着脱のしかた

自動洗車機で洗車するときや、長時間駐車する場合は、アンテナを取り外し、トランク内に収納してください。

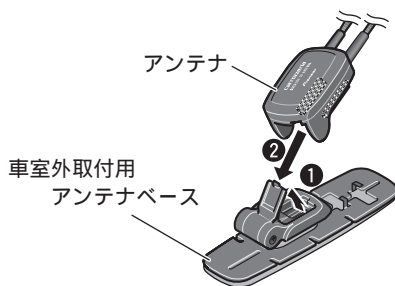
アンテナの外しかた

① アンテナを起こして、② 着脱ボタンを押しながら、③ アンテナを矢印の方向にスライドさせます。



アンテナの取り付けかた

① アンテナベースの取付部を持ち上げて、② アンテナベースの取付部にアンテナの裏側の溝を差し込みます。（“ カチッ ” と音がすることを確認してください。）



アンテナの取り扱い上のご注意

- アンテナおよびアンテナコードは、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品でふかないでください。表面が侵されることがあります。
- エレメントにゴミや汚れが付着し、スムーズに伸縮しなくなった場合は、ねり状ワックスなどでエレメントの金属部分をみがいてください。
- アンテナのエレメントにアクセサリなどの飾りを付けしないでください。無理な力をかけると、エレメントが折れ曲がったり、アンテナが脱落する恐れがあります。

ビーコン受信機の取り付け

取り付け上のご注意

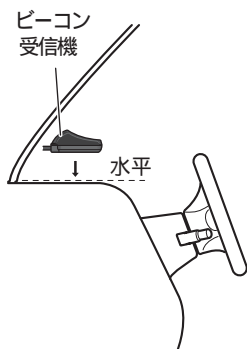
- ビーコン受信機は、運転の妨げにならない場所、エアバッグなど車の安全装置の妨げにならない場所に設置してください。
- ビーコン受信機の取り付け位置や取り付けの高さ、向きによっては、VICS情報を受信しにくくなる場合があります。ビーコン受信機は、必ずダッシュボード中央付近に取り付けてください。
- ビーコン受信機を塗装しないでください。光ビーコンを受信できなくなります。
- ビーコン受信機は、車室内取り付け専用です。(防滴/防水構造ではありません。)
- ビーコン受信機の取り付け角度によっては、VICS情報を受信しにくくなる場合があります。ビーコン受信機は、必ず水平に取り付けてください。水平の角度で受信しにくい場合は、 $-10 \sim +10$ 度の範囲で調節してみてください。
- 普通乗用車の場合は、水平に取り付けてください。



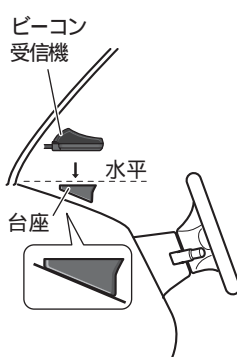
ビーコン受信機の台座の使い方について

ダッシュボードに傾斜がある場合は、付属の台座を使用しビーコン受信機が水平になるように取り付けます。

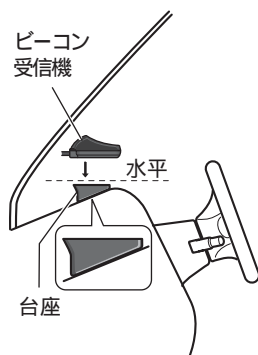
ほぼ水平の場合



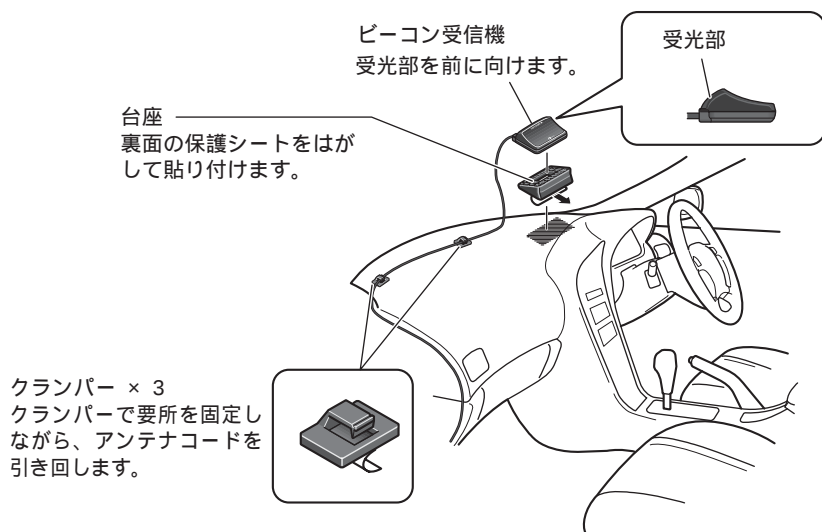
手前に傾斜している場合



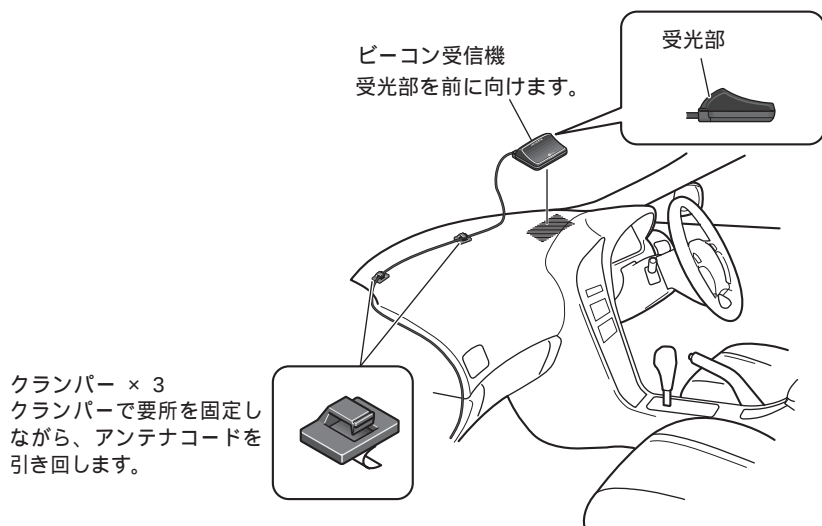
奥に傾斜している場合



台座を使用して取り付ける場合

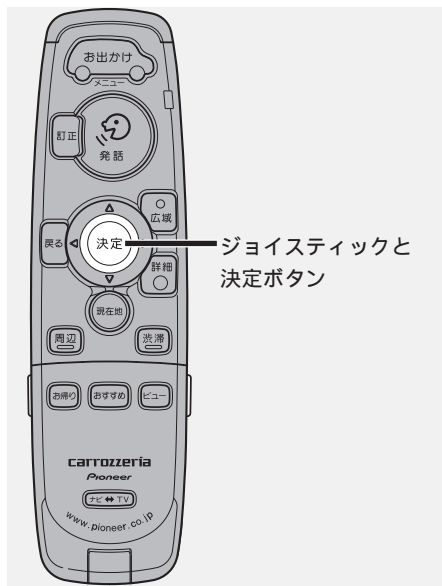


台座を使用しない取り付ける場合



接続の確認とセンサーリセット

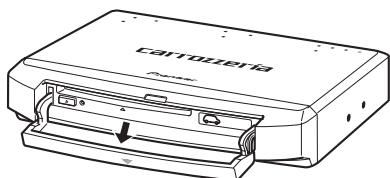
接続・取り付けが終わったら、本機を動作させ、はじめに接続の確認、3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。



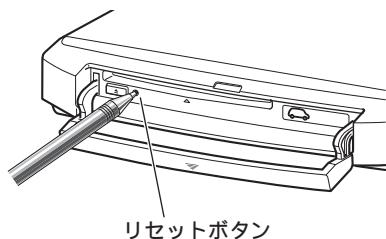
1 車のエンジンをかける



2 フロントドアを開ける



3 ボールペンの先などで、本機のリセットボタンを押す



4 ナビゲーション本体にディスクをセットする



動作開始までに、一度自動的に電源がON/OFFしますが、故障ではありません。

5 接続を確認して、センサーリセットを行う

(次ページ)

を行う

接続を確認して、センサーリセットを行う

3Dハイブリッドセンサーが一度もリセットされていないと、次のような画面になります。ジョイスティックで [接続確認] を選び、決定ボタンを押してください。接続確認画面になりますので、以下の説明を参考にして本機の接続状態を確認します。



確認が終わったら、必ずセンサーリセットを行ってください。

(『スタートブック』)

■ 接続確認画面の見かた

車速パルス：車速信号入力（ピンクリード線）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると“ピッ”と発信音がして、数字とバーが表示されます。数字とバーは本機が測定したパルス数をあらわしています。“ピッ”音とパルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は、低速（時速5 km程度）で行ってください。

GPSアンテナ：GPSアンテナの接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [OK] が、未接続の場合には [NG] が表示されます。

GPS感度：GPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合は、GPSアンテナの位置を変えて2本以上バーが表示される位置に取り付けてください。

取付け位置：ナビゲーション本体の取付け状態を確認できます。[NG] が表示された場合は、測位の精度が悪くなります。車の振動が少ない位置にしっかりと取り付けて、[OK] が表示されるのを確認してください。

パーキングブレーキ：パーキングブレーキスイッチ（若草色リード線）の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると [OFF] かけ直すと [ON] が表示されます。

電圧：車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンアイドリング時に11～15 Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を再度確認してください。なお、表示誤差（±0.5 V程度）があるため、この表示は参考値です。

イルミネーション：イルミ電源（橙/白リード線）の接続状態を確認できます。車のライトを点灯させてください。ライトを点灯すると [ON] 消すと [OFF] が表示されます。

ビーコンユニット：ビーコン受信機の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [OK] 未接続の場合には [NG] が表示されます。

バック信号：バック信号入力（紫/白リード線）の接続状態を確認できます。

パーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでから、シフトレバーをR（リバース）の位置からR（リバース）以外の位置にすると車の絵の向きが左右反転されます。

この接続は、車の前進後退モード切り換えを判断するためのものです。車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）と接続した場合は、必ずバック信号入力を接続してください。

接続しない場合は、内蔵の加速度センサーで車の前進後退動作を判断します。この場合は、「ND-PG1」を正しく使用することはできません。

- 画面の表示が記載されているようにならなかった場合は、正しく接続されていません。もう一度、接続に間違いがないか目で見えて確認してください。



接続の確認とセンサーリセットを行う

つづき

本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナを上下させるには

FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して、FM多重用のアンテナとして車載のオートアンテナを本機に接続した場合は、本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナが上下するように設定します。

リモコンの10キーの〔7〕を押して、オートアンテナを上げてください。(出荷時は電源ON/OFFに連動してオートアンテナが上下しない設定になっています。)